

多摩大学 寺島実郎監修リレー講座 日程・講師			<各回木曜日 14:50～16:10>	
第1回	4月17日(木)	テラシマ ジツロウ 寺島 実郎	多摩大学 学長 (一財)日本総合研究所 会長	「世界の構造変化と日本の進路」
第2回	4月24日(木)	ウノノ モトオ 海野 素央	明治大学政治経済学部 教授	「『トランプ2.0』—ドナルド・トランプ米大統領のリーダーシップスタイルとコミュニケーションスタイル」
第3回	5月 8日(木)	イサカ ヤスシ 井坂 康志	ものづくり大学教養教育センター 教授	「知識社会を生きる—『マネジメントの父』ドラッカーが最晩年に書き、考えたこと」
第4回	5月15日(木)	ミヤタ オサム 宮田 律	一般社団法人現代イスラム研究センター 理事長	「トランプ政権と米国の対イスラエル政策の迷走—極右支配と戦争で行き詰まるイスラエル」
第5回	5月22日(木)	シモトマイ ノブオ 下斗米 伸夫	神奈川大学 特別招聘教授 法政大学 名誉教授	「トランプⅡ政権とウクライナ戦争」
第6回	5月29日(木)	ナカニワ ミツヒコ 中庭 光彦	多摩大学経営情報学部 教授 地域政策デザイナー	「地方創生2.0と日本社会変動のシナリオ」
第7回	6月 5日(木)	M.G.シェフタル	静岡大学情報学部 教授	「世界に問う～最後の戦争証言を集めて」
第8回	6月12日(木)	タナカ タカエ 田中 孝枝	多摩大学グローバルスタディーズ学部 准教授	「中華圏と日本の観光交流のゆくえ」
第9回	6月19日(木)	オオタニ テツジヨウ 大谷 徹瑩	薬師寺 執事長	「仏教と脳科学から学ぶ 人生を幸せに運ぶための六つの条件」
第10回	6月26日(木)	ゴトウ ケンジ 後藤 謙次	白鷺大学 名誉教授 共同通信社 客員論説委員	「参院選とその後の日本政治」
第11回	7月 3日(木)	チョウ カジン 趙 佑鎮	多摩大学経営情報学部 教授・学長室長	「戒厳令・大統領弾劾政局以降の最大の分岐点に立たされる韓国情勢」
第12回	7月10日(木)	テラシマ ジツロウ 寺島 実郎	多摩大学 学長 (一財)日本総合研究所 会長	「2025年、夏の意味—歴史認識を深める」

※講師の病気、事故、交通機関の乱れ、天災地変等、やむを得ず休講、講座時間を短縮する場合があります。その際の補講は実施しない場合もありますが、受講料は春学期リレー講座一括のため返金はいりませんのでご了承ください。

※お車でのご来校については、駐車場がないため公共の交通機関のご利用をお願いいたします。

多摩キャンパス

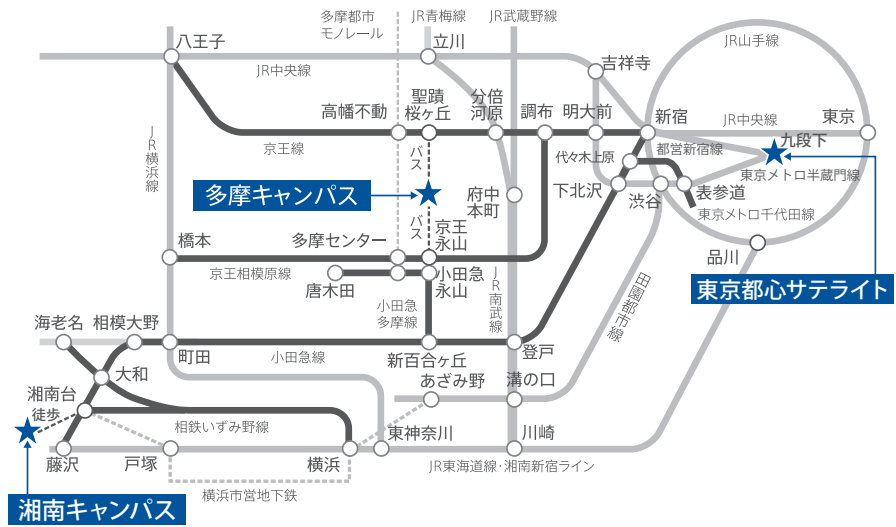
- 京王相模原線・小田急多摩線『永山駅』バス乗り場2番、多摩大学バス停 下車(バス15分)
- 京王線『聖蹟桜ヶ丘駅』バス乗り場12番、多摩大学バス停 下車(バス18分)

湘南キャンパス (ライブビューイング会場)

- 小田急江ノ島線・相模鉄道いずみ野線・横浜市営地下鉄『湘南台駅』下車(地下B・D出口から徒歩12分)

東京都心サテライト (録画放映会場)

- 地下鉄東西線・半蔵門線・都営新宿線『九段下駅』下車(5番出口から徒歩3分)



日 程：春学期 全12回
(各回木曜日 14:50～16:10)

会 場：多摩大学多摩キャンパス 001 教室

定 員：200名(一般募集定員)
※多摩大生同時受講

受講料：一般 13,000円(全12回分)

特別割引受講料
11,000円

多摩市および稲城市に在住の勤者、他大学学生、多摩大学後援会会員

【インターネットオンデマンド受講】
受講料：10,000円(全12回分)

【ライブビューイング受講】
受講料：6,000円(全12回分)

会 場：多摩大学湘南キャンパス

定 員：80名(一般募集定員)
※多摩大生同時受講

【録画放映受講】
受講料：6,000円(全12回分)

会 場：東京都心サテライト

定 員：25名

録画放映日・時間：原則講座開講当該週の土曜日
11:00～12:20

監 修：寺島実郎(多摩大学学長)

主 催：多摩大学

後 援：多摩市、多摩信用金庫

詳細情報は多摩大学ホームページをご覧ください。

<https://www.tama.ac.jp/>

お問い合わせ
●多摩大学寺島実郎監修リレー講座事務局
〒206-0022 東京都多摩市聖ヶ丘4-1-1
TEL: 042-337-7300 FAX: 042-337-7103
Mail: relay@gr.tama.ac.jp

多摩大学 寺島実郎監修リレー講座

現代世界解析講座XVIII

2025年 春学期

時代認識を深め 日本の針路を再考する

各界の碩学を講師として迎え、
リレー講座として日本と世界が置かれた歴史的位相を多面的な視点から再検討し、
その今日的課題を解析するプログラムを構築する。

講 師・日 程

寺島 実郎	4/17(木)、7/10(木)
海野 素央	4/24(木)
井坂 康志	5/ 8 (木)
宮田 律	5/15(木)
下斗米 伸夫	5/22(木)
中庭 光彦	5/29(木)
M.G.シェフタル	6/ 5 (木)
田中 孝枝	6/12(木)
大谷 徹瑩	6/19(木)
後藤 謙次	6/26(木)
趙 佑鎮	7/ 3 (木)

日程 2025年4月～2025年7月(全12回)
各回木曜日 14:50～16:10

会場 多摩大学多摩キャンパス 001 教室

★インターネットオンデマンド受講
★ライブビューイング受講
会場 多摩大学湘南キャンパス(神奈川県藤沢市)
★録画放映受講
会場 東京都心サテライト(東京都千代田区)

現代世界解析講座XVIII

2025 年 春学期

時代認識を深め日本の針路を再考する

米国が「アメリカ・ファースト」の自国利害中心主義に回帰し、内向する世界に向かう今、日本人も視界を広げ、次に目指すべき方向感を再考せざるをえない状況にある。18年目に入るこの講座も、多くの参加者の考える機会になることを期待している。

寺島 実郎



監修
寺島 実郎
多摩大学 学長
(一財) 日本総合研究所 会長

PROFILE
1947年北海道生まれ。早稲田大学大学院政治学研究科修士課程修了後、三井物産入社。米国三井物産ワシントン事務所長、三井物産戦略研究所所長、三井物産常務執行役員、早稲田大学大学院アジア太平洋研究科教授等を歴任。文部科学省 日中韓大学間交流・連携推進会議委員、経済産業省 資源エネルギー庁総合資源エネルギー調査会基本政策分科会委員、国土交通省 国土審議会計画推進部会委員等、国の審議会委員も多数歴任。1994年石橋湛山賞受賞。2010年4月早稲田大学名誉博士学位。近著に、『21世紀未来圏 日本再生の構想 全体知と時代認識』（岩波書店）、『ダビデの星を見つめて 体験的ユダヤ・ネットワーク論』（NHK 出版）、『(寺島実郎監修) 全47都道府県幸福度ランキング 2024 年版』（日総研出版）。その他に、主な著書は、『人間と宗教 あるいは日本人の心の基軸』（岩波書店）、『日本再生の基軸 平成の晩鐘と令和の本質的課題』（岩波書店）、『(佐高信共著) 戦後日本を生きた世代は何を残すべきか われらの持つべき視界と覚悟』（河出書房新社）、『ジェロントロジー宣言「知の再武装」で100歳人生を生き抜く』（NHK 出版新書）、『ひとはなぜ戦争をするのか 脳力のレッスンV』（岩波書店）、『ユニオンジャックの矢 大英帝国のネットワーク戦略』（NHK 出版）、『シルバー・デモクラシー 戦後世代の覚悟と責任』（岩波新書）、『寺島実郎 中東・エネルギー・地政学一全体知への体験的接近』（東洋経済新報社）、『二十世紀と格闘した先人たちー一九〇〇年 アジア・アメリカの興隆』（新潮社）、『何のために働くのかー 自分を創る生き方』（文春新書）、『大中華圏 ネットワーク型世界観から中国の本質に迫る』（NHK 出版）他多数。

第 1 回

2025 年 4 月 17 日 (木)

「世界の構造変化と日本の進路」

講師
寺島 実郎
多摩大学 学長
(一財) 日本総合研究所 会長

第 2 回

2025 年 4 月 24 日 (木)

「『トランプ2.0』ードナルド・トランプ米大統領のリーダーシップスタイルとコミュニケーションスタイル」

講師
海野 素央
明治大学政治経済学部 教授

PROFILE
明治大学政治経済学部教授。心理学博士。アメリカン大学（ワシントン DC）異文化マネジメント研究所元客員研究員。専門は異文化間コミュニケーション論、異文化ビジネス論。08年及び12年米大統領選挙においてオバマ陣営にボランティアの草の根運動員として参加。16年米大統領選挙ではクリントン陣営に入る。20年民主党大統領候補指名争いではバイデン陣営とサンダース陣営で戸別訪問を実施。著書に「オバマ再選の内幕」（同友館）など多数。ウェッジオンラインに連載中。

第 3 回

2025 年 5 月 8 日 (木)

「知識社会を生きるー『マネジメントの父』ドラッカーが最晩年に書き、考えたこと」

講師
井坂 康志
ものづくり大学教養教育センター 教授

PROFILE
1972年生まれ。早稲田大学政治経済学部卒業。東京大学大学院人文社会系研究科博士課程単位取得退学。博士（商学）。現在、ものづくり大学教養教育センター教授。著書に、『ピーター・ドラッカー「マネジメントの父」の実像』（岩波新書）、『P・F・ドラッカー・マネジメント思想の源流と展望』（文真堂、経営学史学会奨励賞受賞）等。

第 4 回

2025 年 5 月 15 日 (木)

「トランプ政権と米国の対イスラエル政策の迷走ー極右支配と戦争で行き詰まるイスラエル」

講師
宮田 律
一般社団法人現代イスラム研究センター 理事長

PROFILE
1955年山梨県甲府市生まれ。慶應義塾大学大学院文学研究科修士課程修了。カリフォルニア大学ロサンゼルス校（UCLA）大学院歴史学科修士課程修了。現在、一般社団法人現代イスラム研究センター理事長。専攻は、イスラム地域研究、国際関係論。主な著書に『武器より命の水をおくりたい 中村哲医師の生き方』（平凡社）、『イスラムがヨーロッパ世界を創造した』（光文社新書）、『人口からみた宗教の世界史』（PHP 新書）、『ガザ紛争の正体』（平凡社新書）、『イスラエルの自滅』（光文社新書）など。

第 5 回

2025 年 5 月 22 日 (木)

「トランプⅡ政権とウクライナ戦争」

講師
下斗米 伸夫
神奈川大学 特別招聘教授、法政大学 名誉教授

PROFILE
1948年生まれ。75年に文部省派遣留学（モスクワ）、78年に東京大学法学部より法学博士。成蹊大学教授、法政大学教授を経て、2019年より神奈川大学特別招聘教授。朝日新聞客員論説委員、国際政治学会理事長、日口賢人会議、バルダイ・クラブ成員などを歴任。著書に『図説ソ連の歴史』（河出書房新社）、『神と革命』（筑摩選書）、『新危機の20年-ブーチン政治史』（朝日新聞出版）、『ソ連を壊した男、エリツィン』、『ブーチン戦争の論理』（集英社インターナショナル新書）。

第 6 回

2025 年 5 月 29 日 (木)

「地方創生 2.0 と日本社会変動のシナリオ」

講師
中庭 光彦
多摩大学経営情報学部 教授、地域政策デザイナー

PROFILE
1962年東京都出身。中央大学大学院総合政策研究科博士課程退学。専門は公共政策・地域政策論。人口減少期の地域政策デザインを研究し、行政・企業にアドバイスや政策デザイン人材養成を行っている。著書は『オール・ヒストリー 多摩ニュータウン』（2010）、『コミュニティ 3.0』（2017）、『東京都市化と水制度の解釈学』（2021）、『多摩学への試み』（2024）他多数。

第 7 回

2025 年 6 月 5 日 (木)

「世界に問うー最後の戦争証言を集めて」

講師
シェフタル モーデカイ ジョージ
静岡大学情報学部 教授

PROFILE
1987年より日本在住。専門は日本近現代文化史およびコミュニケーション論。第二次世界大戦と、その戦禍が日本人の意識の集約的および個人的レベルに及ぼした影響に特に重点を置いた、日本人の国民的アイデンティティの近代的進化を研究。国際日本文化研究センター研究員（2012-2013）の他、日本と米国の第二次世界大戦関連の博物館の客員学芸員、欧米および日本のメディアにおける歴史ドキュメンタリー番組の技術コンサルタントやコメンテーターも務める。主著に日本の神風特攻隊の生存者へのインタビューを基にした『Blossoms in the Wind: Human Legacies of the Kamikaze』（2005）、原爆投下の生存者へのインタビューを基にした『Hiroshima: The Last Witnesses』（2024）、『Nagasaki: The Last Witnesses』（2025.8 予定）。

第 8 回

2025 年 6 月 12 日 (木)

「中華圏と日本の観光交流のゆくえ」

講師
田中 孝枝
多摩大学グローバルスタディーズ学部 准教授

PROFILE
東京大学大学院総合文化研究科超域文化科学専攻博士課程修了（学術博士）。専門は文化人類学、観光研究。主なテーマは、中華圏、観光ビジネス、異文化経営、インバウンド観光、リスク・不確実性、復興ツーリズム、防災。主著に『日中観光ビジネスの人類学』、共著に『企業経営のエスノグラフィ』、『文化遺産と防災のレッスン』など。

第 9 回

2025 年 6 月 19 日 (木)

「仏教と脳科学から学ぶ 人生を幸せに運ぶための六つの条件」

講師
大谷 徹 奨
薬師寺 執事長

PROFILE
1963年4月16日、東京都江東区にある浄土宗の重願寺住職の大谷旭雄の二男として生まれる。芝学園高等学校在学中17歳の時、故・高田好胤薬師寺和上に師事、薬師寺の僧侶となる。龍谷大学文学部仏教学科卒業、同大学院修士課程修了。1999年春から全国各地で「心を耕そう」をスローガンに法話行脚中。2019年8月16日より現職。著書に「人生はいつだって自問自答」「幸せの法則」（小学館）他多数。

第10 回

2025 年 6 月 26 日 (木)

「参院選とその後の日本政治」

講師
後藤 謙次
白鷗大学 名誉教授、共同通信社 客員論説委員

PROFILE
1949年東京都出身。早稲田大学卒業後、共同通信社入社。札幌支社などを経て82年から本社政治部。2002年政治部長、06年編集局長、07年12月TBSテレビ「NEWS23」キャスター、テレビ朝日「報道ステーション」コメンテーターなど。現在はフリー。2024年日本記者クラブ賞受賞。第72回菊池寛賞受賞。週刊ダイヤモンド「永田町ライブ!」など執筆中。著書に「竹下政権576日」「ドキュメント平政政治史」（全5巻）など。

第11 回

2025 年 7 月 3 日 (木)

「戒厳令・大統領弾劾政局以降の最大の分岐点に立たされる韓国情勢」

講師
趙 佑 鎮
多摩大学経営情報学部 教授・学長室長

PROFILE
延世大学経営学部卒業後、文部省国費奨学生として日本留学。慶応義塾大学大学院（商学博士）、かながわサイエンスパーク、青森公立大学を経て、現職。著書『奇跡を呼びこむ、人ーイノベーションの起点』、『知識経済とサイエンスパーク』、『東アジア共同体を設計する』、『戦略的マーケティングの構図』、『文化を競争力とするマーケティング』。

第12 回

2025 年 7 月 10 日 (木)

「2025 年、夏の意味ー歴史認識を深める」

講師
寺島 実郎
多摩大学 学長
(一財) 日本総合研究所 会長